

坂本龍馬希望の地 長崎

実教学園高等学校

2年1組 第1班

1 坂本龍馬の生い立ち

年 号	事 項
1835年	土佐藩、町人郷土坂本家の次男として誕生
1853年	江戸に行き、北辰一刀流の千葉道場入門
1858年	北辰一刀流の免許を受け、土佐に帰国
1861年	武市半平太のつくった土佐勤王党に加入
1862年	土佐を脱藩。勝海舟の弟子へ
1864年	薩摩藩の西郷隆盛と知り合う。

2 坂本龍馬と長崎

坂本龍馬は、元治元年（1864）勝海舟に伴われて初めて長崎を訪れた。翌年、同志と長崎に「亀山社中」を結成して海運業などを手掛ける。一方で、薩長同盟を成立させるなど、討幕運動に奔走した。慶応3年（1867）、「船中八策」を策定し、同年、大政奉還が実現したが、その直後、京都にて暗殺される。



3 亀山社中(かめやましゃちゅう)

「社中」とは人が集まると言う意味である。慶応3年（1867）4月、「亀山社中」は、龍馬が脱藩罪を許されたのを期に土佐藩が引継ぎ、「海援隊」と改称された。龍馬が隊長となり、海援隊約規、それと船印として「赤白赤」の旗印も決めた。この旗は、「二曳（にびき）」と呼ばれた。



4 龍馬通り

「龍馬通り」とは、寺町の深崇寺と禅林寺の間から亀山社中跡を経て風頭公園へ至る小路の名称である。長崎らしい坂道・階段が続くこの歴史探訪路には手作りの案内板が各処に設置されている。



5 龍馬のブーツ

坂本龍馬は日本で最初にブーツを履いたといわれている。当時土佐では身分制度が厳しく下級武士である郷土の家に生まれた龍馬は草履しか履けなかった。亀山社中創立130周年を記念して、平成7年に建立された。



6 「龍馬がゆく」より

司馬遼太郎作の「龍馬がゆく」の一文の句碑が風頭公園の中に立っている。

